

地域の仲間と手をとり合って 戦争反対 憲法を守るこの声高く

3月24日、けんせつプラザ東京と複数の会場をWEBで結び、「改憲阻止に向けた憲法学習決起集会」を開催しました。東京法律事務所の長谷川悠美弁護士らの「憲法をめぐ

三鷹武蔵野 緊急宣伝を50人超で ツイッター見て飛び入りも



3月4日に三鷹駅南口デッキで行なった緊急抗議宣伝行動

【麻生嶋初枝さんの報告】
三鷹武蔵野支部では、本部の「ロシアのプーチン政権によるウクライナへの軍事侵略に抗議する声明と緊急行動提起」を受けて、3月4、7日と三鷹地区協・憲法三鷹協同センターと合同で三鷹駅南口

にて抗議宣伝行動に取り組みました。緊急の呼びかけにもかかわらず、労働組合や市民団体、三鷹市議ら50人を超える人が集まり、三鷹武蔵野支部からも4日12人、7日には9人が参加しました。参加者一人ひとりがプラカ

ードを掲げて、20人以上がマイクアピールを行ないました。三鷹武蔵野支部からも「私たち東京土建は結成以来、一貫して戦争を否定してきました。『平和でなければ建設業は成り立たない』をスローガンに世界中の市民と連携して抗議します」と訴えました。参加者の中には、「ツイッターを見てきました」という人や「わたしは一人の市民として何の団体にも入っていませんが、戦争反対なので参加させていただきます」といった初参加する人もいました。ポスターを順番に見ていく人もあり、駅を利用する多くの市民が注目し、カンパも多く寄せられました。

改憲、核保有 許さない

一方で、ウクライナはこの情勢を受けて、安倍元首相や日本維新の会など保守派の中で憲法9条の改憲論議や核共有について議論すべきといっ



麻生嶋さん

た声が大きくなっており、この議論の背景には、「憲法9条を改正しないと侵略国家から日本を守れない」といった主張があります。

しかし「憲法」とは、今回

中野

集団的自衛権に反対して 実行委で継続的運動

【鈴木利之さんの報告】中野区では安倍政権が集団的自衛権行使容認に踏み切った2014年、この暴走を食い止

めるべく、東京土建を含む区内の平和運動を行なっている団体や区内在住の学者・知識人などが、共同で「秘密保護

のロシアやかつての世界大戦の時の日本のように、そもそも国家権力が勝手な暴走をさせないために存在するものです。このような情勢だからこそ、憲法9条を生かしていくことが大切なのではないでしょうか。三鷹武蔵野支部では、新婦人など地域の団体と共同で「憲法9条を守り、核兵器廃

絶をめざそう」とパネルを掲げてスタンディングアピール等を毎月継続して行なってきました。ロシアのウクライナ侵攻によって多くの市民が平和について関心を寄せている今、平和・反核の世論を広げていくためには、引き続き奮闘していきます。ともにがんばりましょう。



JR中野駅頭での宣伝行動



鈴木さん

その後、2015年に安保法制が国会で強行採決された際に、この共同行動に賛同し

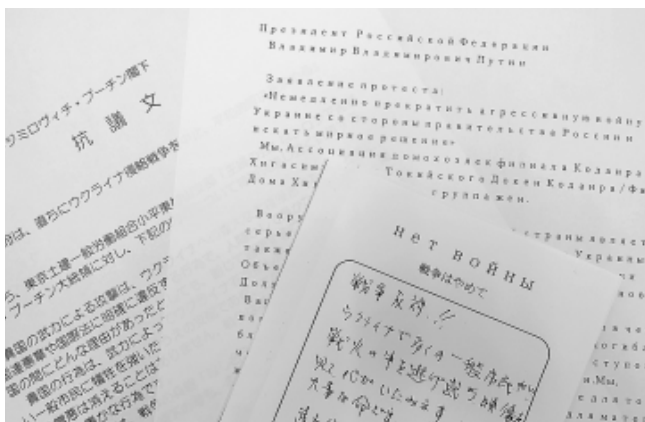
た団体、個人を中心とした「安保法制（戦争法）の廃止をめざす中野アピール実行委員会」（以下、中野実行委）が立ち上がりました。中野実行委は誕生当初から、月2回の定例駅頭宣伝に取り組みしており、現在に至るまでその活動は続いています。当初は安保法制の廃止を求め、その危険性、違憲性を街頭で訴えました。駅頭宣伝の回を重ねるうちに、その時の情勢に合わせて沖縄基地問題や原発、核兵器問題など訴える内容を変え、より多くの市民・団体に運動への参加を呼び掛けてきました。

ロシア語でハガキ 主婦の会が大使館へ

【小平東村山・書記・奥田八志記】3月中旬、小平東村山支部の主婦の会では定期総会へ向けて、役員が

集まり準備をしていまし

ろっ」、会長は「わたしの知り合いに頼んでロシア語に訳してもらおう」「みんなプーチンにハガキで訴えよう」。どんな話がまとまりました。総会「特別決議」として抗議文を確認し、ハガキに抗議メッセージを書き込み、ロシア大使館へ送りました。



抗議文。ロシア語のものも

なる映像が流れていました。主婦の会の役員は「本当に酷い」「やめてほしい」と声を上げました。「急いで抗議文をつく

今年が 大きな山場に

今年に入り、岸田首相は敵基地攻撃能力の保有について言及し、戦争する国づくりに向けた改憲推進の姿勢をあらわにしました。さらに、ロシアのウクライナ侵攻に便乗するように憲法9条の「改正」や安倍元首相による核兵器共有発言で、急速に自公与党とその補完勢力による改憲に向けた議論が進んでいます。

今夏の参院選の結果次第で、年内の改憲発議もありえ

詰将棋の解答

■3一桂成○同玉■3二歩○同玉■2三金○3一玉■4三桂不成○同飛■2一金まで9手詰。

中野支部はこの中野アピールの運動に組織の力を活かして、人の動員や運営への協力をし、地域と連携した活動を行なっています。

・賛同団体に対して憲法改憲を許さず平和な世界をめざすため、地域からの運動を強化しようと呼びかけました。何としても憲法改悪の流れを止めたいと考えています。